

河合塾第1回FDセミナー2012 感想集

お褒めのお言葉、改善点のご指摘様々ですが、今後のセミナーに、十分に活かしていきたいと考えております。

- ・ シラバスを作成する時に、それぞれの先生が、現場でどのように学生に関わっていらっしゃるのかが一番よく伝わってきました。自分と同じ試みをされている方も、かなりいらっしゃる、同志を見つけた思いで心強く思ったりもしました。
- ・ ライティングのプロセスや授業として求められていることを学べたのが良かった。
- ・ グループの構成が、性別だけではなく、年齢や立場の異なる方々と協同で作業ができて視野が広がった。
- ・ 初年次教育の中で、「文章表現」という科目に何ができるのか、どこまでできるのかを改めて感じました。非常に多様な可能性を持つ科目であり、だからこそ「初年次」という限定の意義を改めて感じました。
- ・ 学びの当事者としての学生をどう位置づけるかという点についてもっと知りたかった。勤務先ではシラバスのガイドラインを1人で作っているの、不安が大きかったが、今日のような活動を経ることで大変勇気づけられました。
- ・ 最後の質問でお話が出ましたが、大学生に必要な文章表現(レポート)とは何かについても触れていただけると良かった。
- ・ グループワークの時間が多過ぎるように思う。
- ・ エネルギーの高まりが感じられるワークでした。ありがとうございました。
- ・ シラバス作成段階から担当者(複数)の意見を交換することは、その後の授業設計・運営についてもいい影響を与えるのではないかと。
- ・ 大学生としての読解力、日本語力、コミュニケーション力、他にもいろいろなテーマでお願いできるとありがたいかと思えます。また、具体的な授業設計、カリキュラム、教材開発でお知恵をいただけたら幸いです。
- ・ 次回以降のセミナーについて楽しみにしております。
- ・ 関西地区でも実施していただきますと幸いです。
- ・ 時間が長い。体験ということから仕方がないのかもしれないが。
- ・ 長時間で大変だったが、時間を忘れるくらい集中して取り組めた。準備が大変であったことと思えます。ありがとうございました。